

子どもの集中治療室入室が家族の健康に与える影響とそのメカニズムの解明

本研究室では、「子どもの集中治療室入室が家族の健康に与える影響とそのメカニズムの解明」を行っています。この研究は、全国約 4000 の診療所の電子カルテデータ結合レセプトデータを用いて、プライマリ・ケアの質に寄与する要因を調べることを目的とします。

【研究課題】

子どもの集中治療室入室が家族の健康に与える影響とそのメカニズムの解明（審査番号 2311）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関：筑波大学医学医療系 宮脇研究室

研究責任者： 宮脇 敦士（准教授）

【研究期間】

2026年8月19日 ～ 2030年3月31日

【対象となる方】

2014 年 4 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに DeSC データベースに収載された者のうち、同期間中に PICU へ入室した小児の親として特定された者、および PICU への入室歴がない小児の親から、あらかじめ定めた基準に基づいて選定した比較対照者を研究対象とします。

【研究の背景・目的】

小児集中治療室（PICU）への入室は、患児本人のみならずその家族にとっても大きな心理的・社会的負担を伴う出来事です。これまで、PICU 入室後の家族ではメンタルヘルス問題が生じやすいことが報告されてきました。しかし、メンタルヘルスの問題の長期経過はまだまだ明らかになっていません。

また、メンタルヘルスの問題は、心血管疾患や糖尿病、高血圧などの発症・増悪に関連するとされていますが、子どもの PICU 入室という強いストレス経験が、家族の心血管疾患、生活習慣病、内科的疾患の受診・治療行動に及ぼす影響については十分に検討されていません。

本研究は大規模レセプトデータを用いて、子どもの PICU 入室が家族の健康に及ぼす影響を調査する目的で行われます。

【研究の方法】

本研究は、DeSC ヘルスケア株式会社が研究用に提供する「DeSC データベース」を用いた観察研究です。本データベースは、健康保険組合、国民健康保険、後期高齢者医療制度その他の保険者または地方公共団体等が保有するレセプトデータ、健診・検診データおよび加入者台帳情報等を基に、DeSC ヘルスケア株式会社が構築したリアルワールドデータベースです。

本研究では、DeSC データベースから、性別、生年月または生年月から作成された年齢、本人・家族区分、保険加入日、保険脱退日その他の資格情報、診療年月または診療日、入院・外来・DPC・調剤等のレセプト区分、傷病名および傷病コード、診療行為、手術・処置、薬剤名、薬剤コード、処方量、投与日数、医療費、入退院に関する情報、健診・検診の受診日、身長、体重、BMI、腹囲、血圧、血液検査その他の健診・検診結果、問診情報等を用います。これらの情報を用いて、子どもが集中治療室に入室した親の健康について分析を行います。

DeSC データベースのもととなるデータは、提供時点において匿名加工されており、DeSC ヘルスケア株式会社にてデータクリーニングが行われ、その後、本研究室に提供されます。使用するデータは匿名化処理がされており、本学へ個人情報が提供されることはなく、個人情報扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。研究結果は個人が特定できない形式にした上で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと研究終了後 5 年間保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

[利益相反について]

この研究に関する費用は、運営費交付金および JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) 区分 3 から支出されます。しかし、研究の実施や報告の際に、これらの費用等提供元の都合の良い結果となるよう意図的に導いたりすることはありません。

[問い合わせ先]

筑波大学大学院 医学学位プログラム 奥脇一

住所: 茨城県つくば市天王台 1-1-1 Mail: okuwaki.hajime.ms @ alumni.tsukuba.ac.jp

筑波大学医学医療系

社会医学（公共健康政策） 准教授 宮脇 敦士（研究責任者）

住所: 茨城県つくば市天王台 1-1-1 Mail: amiyawaki @ md.tsukuba.ac.jp